

CSR報告書 2017



トップメッセージ

Top Message



廃棄物処理法の改正について

先般、廃棄物処理法が改正されました。これは、昨年起きた食品廃棄物不適正処理事案とここ数年の懸案であった雑品スクラップに関する火災事故等への対策を主な目的とするものです。

更に、国際的な水銀規制に基づく、水銀を含有している廃棄物に関する規制も施行されました。一部緩和規定も加わったものの、全体的には更なる規制強化が図られた形となりました。廃棄物処理の、環境に与える影響の重要性が社会的な認知度が深まってきた当然の帰結であるといえます。この傾向はさらに続くものと予想され、我々廃棄物処理に携わるものの社会責任は益々大きくなっていくものと思われま

株式会社ウチダは循環型社会の構築に寄与し続けます

他方、国際的には2015年9月に開催された「国連持続可能な開発サミット」において、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」が採択され、国内においても様々な分野でSDGsに向けた取り組みが進んでいます。

産業廃棄物処理業に携わるものにとって、SDGs達成への道は、業の目的である適正処理を行い、再資源化を推進することに他なりません。

自然との共生、地域社会との調和を図ることが当社の責務であり、そのために、常にリサイクル技術の推進と研究開発と施設の充実を図ることを通じて、リサイクルによる資源の循環的な利用に加え、廃棄物の更なる適正処理に努めてSDGsを達成する、そんなことをウチダは常に考えています。

資源循環型社会への貢献こそが私たちの使命です

株式会社ウチダは、1985年の創業以来今日に至るまで、【棄てない・埋めない・燃やさない】をキーワードに、廃棄物の100%再資源化を目指して処理を行っています。このため、当社は廃棄物処理施設を工業専用地域に設け、建築基準法第51条、廃棄物処理法第15条に対応させるだけでなく、破碎機をはじめとするほとんどの処理施設を自社で開発・製作するとともに、施設の維持管理も自ら徹底して行うことと併せて、常に環境負荷の少ない高品質な再資源化製品を提供できる体制を実現いたしました。更に、コンプライアンス（法令順守、compliance）、CSR（企業の社会的責任、corporate social responsibility）の考え方を企業経営に取り込み、ISO14001認証に基づく環境管理や、労働安全衛生管理、定期的な社員教育、ホームページによる情報公開等を積極的に行うことを心がけています。

当社はこの仕組みをさらに向上させることで、排出事業者、地域の皆様、製品も数多くご愛用いただいている多くのユーザー様をはじめ、全てのステークホルダーの皆様から常に信頼され、愛される企業を目指しています。

目次

Contents

会社概要	3
組織図	4
沿革	5
ハイライト	7
環境とのかかわり	10
地域・社会とのかかわり	19
お客様とのかかわり	20
社員とのつながり	21
第三者意見	23



牛も馬も豚も喜ぶウチダのオガコ

会社概要

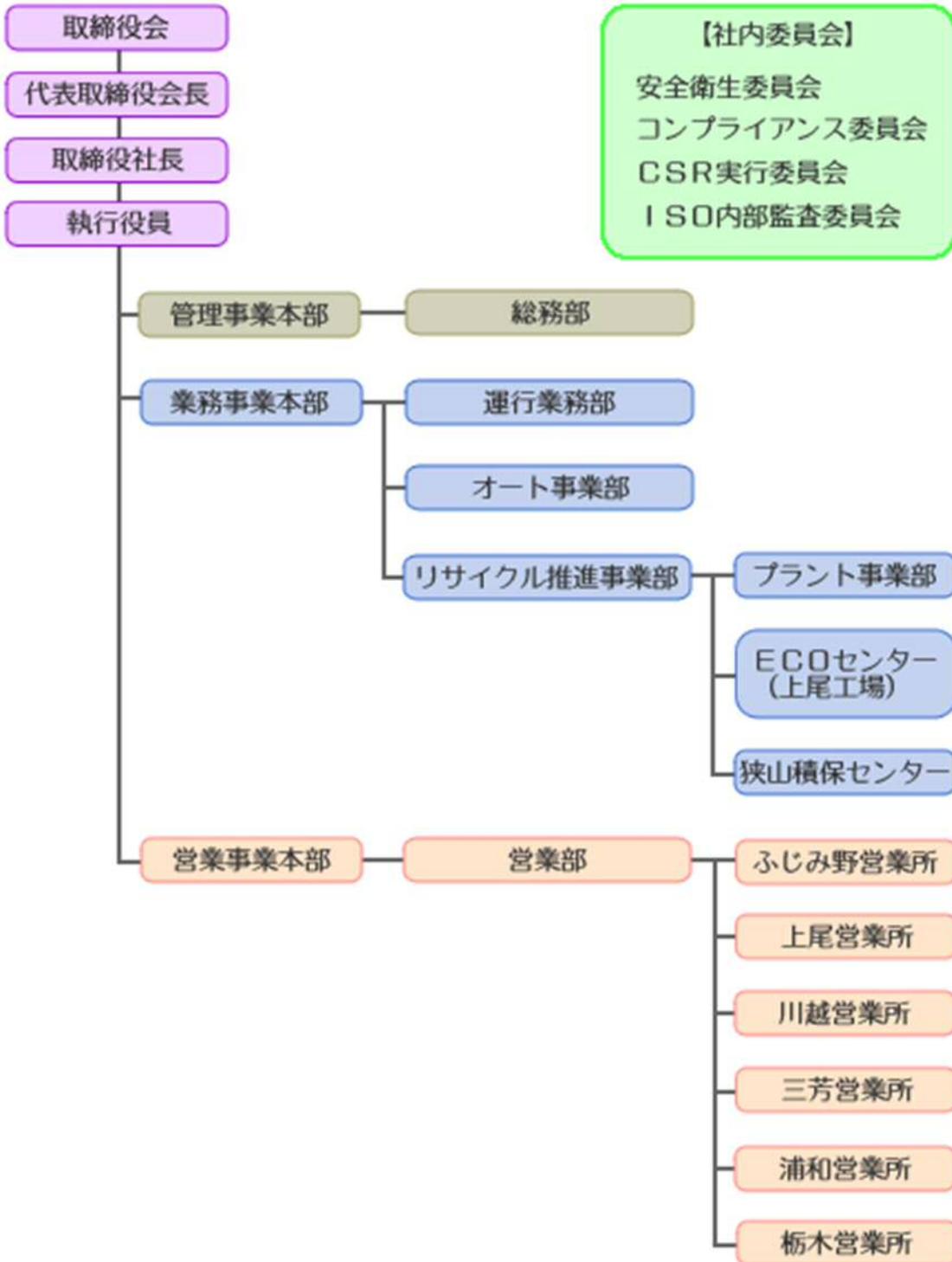
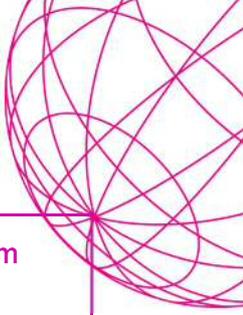
Company Guide



商号	株式会社 ウチダ
資本金	5,000万円
会社設立	1985年（昭和60年）2月20日
代表者氏名	代表取締役会長 内田 一二三
役員	取締役社長 内田 千恵子 取締役 日野 弘幸 監査役 日野 佳乃与 専務執行役員 内田 朋美
本社	〒356-0034 埼玉県ふじみ野市駒林18番地 TEL：049-263-9777
ふじみ野営業所	〒356-0052 埼玉県ふじみ野市苗間1-6-10 TEL：049-293-1128 FAX：049-293-1126
浦和営業所	〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂4-7-11
川越営業所	〒350-1131 埼玉県川越市岸町二丁目18番4号
三芳営業所	〒354-0043 埼玉県入間郡三芳町竹間沢450-17-101
栃木営業所	〒329-3437 栃木県那須郡那須町大字簗沢527-2
狭山積保センター	〒350-1313 埼玉県狭山市上赤坂字妻恋ヶ原589番地1他 *塩化ビニル管・継手管協会指定受入拠点
上尾工場	〒362-0066 埼玉県上尾市領家字中井1119-1 （上尾領家工業団地内） TEL：048-782-0201（代） FAX：048-782-0204 *塩化ビニル管・継手管協会指定受入拠点、 塩ビ管・継手リサイクル契約 中間処理会社
栃木工場	〒329-1411 栃木県さくら市鷲宿字大久保2864-1 （建設中）（設置許可 第300-4号、第300-5号）
事業内容	産業廃棄物収集運搬業 営業地域：関東一円 特別管理産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物処分業 産業廃棄物再生事業 一般廃棄物収集運搬業 一般建設業 埼玉県知事 許可(般-27)第51123号 土木工事業・とび・土工工事業・石工事業・鋼構造物工事業 舗装工事業・しゅんせつ工事業・水道施設工事業 リサイクル機器設計・製造・販売業 中古自動車販売業
従業員	65名（平成29年3月現在）
主要取引銀行	埼玉縣信用金庫（上福岡支店）・三菱東京UFJ銀行（新座志木支店） 三井住友銀行（上福岡支店）・武蔵野銀行（上尾支店）
加盟団体	一般社団法人埼玉県環境産業振興協会 一般社団法人東京都産業廃棄物協会 公益社団法人栃木県産業資源循環協会 一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 塩化ビニル管・継手協会（賛助会員）

組織図

Organization system



沿革

History

- 1985.02 有限会社内田商事 設立（埼玉県上福岡市）
- 1987.10 埼玉県を中心に産業廃棄物収集運搬事業を開始
順次営業エリア拡大
営業部設置（埼玉県狭山市）
- 1992.06 埼玉県富士見市に営業本部を設置
（みずほ台営業所）
狭山営業所は狭山積保センターに
- 1994.09 埼玉県知事より建設業許可取得
- 1995.05 「株式会社ウチダ」に社名変更
資本金を5000万円に増額
- 1997.05 産業廃棄物中間処分業を開始（埼玉県許可取得）
- 1998.06 廃棄物再生事業者登録取得（埼玉県）
- 1998.12 計量証明事業登録取得（埼玉県）
- 2000.04 廃棄物破碎処理機の自社開発に着手
- 2004.01 ISO14001 認証取得
- 2004.01 特別管理産業廃棄物収集運搬業を開始
- 2004.06 電子マニフェストシステム加入
- 2005.01 一般貨物自動車運送事業許可取得
- 2006.12 更生保護事業への貢献がみとめられ、
さいたま保護観察所長より感謝状
- 2006.01 緑のトラスト運動協力企業として
2007.03 埼玉県知事より感謝状
- 2007.03 上尾工場の保管施設を追加
- 2007.11 狭山積保センターで石綿含有産業廃棄物の
積替え保管可能に
- 2008.12 上尾工場拡張
- 2010.02 東京都産廃エキスパート認定取得
（収集運搬業（積替え保管を除く））
以降、現在まで更新認定取得
- 2010.05 （社）埼玉県産業廃棄物協会より
「優良事業所表彰」を授与される
- 2011.04 塩化ビニル管・継手協会の契約中間処理工場に
指定される
（受入拠点：上尾工場・狭山積保センター）



- 2011 産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業 優良確認・
- 2012 優良認定を受ける（埼玉県他）
- 2012.06 緑のトラスト運動協力企業として埼玉県知事より感謝状
（公社）全国産業廃棄物連合会より
「地方優良事業所表彰」を受ける
- 2012.10 廃棄物再生事業者登録事業内容の変更（埼玉県）
- 2013.03 上尾工場の減容施設の廃止、保管施設の追加・廃止・保管
面積の拡大
- 2013.08 上尾市社会福祉協議会より「感謝状」を授与される
- 2014.12 東京都産廃エキスパート更新認定取得
（収集運搬業（積替え保管を除く））
- 2015.01 埼玉県多様な働き方実践企業認定取得（シルバー）
- 2015.06 緑のトラスト運動協力企業として埼玉県知事より感謝状
- 2015.10 さいたま市産業廃棄物収集運搬業の許可が合理化により
許可期限で失効
- 2015.11 埼玉県の3S運動推進事業者に登録
- 2016.03 上尾工場にトロンメル導入
- 2016.06 （公社）全国産業廃棄物連合会より「地方功労者表彰」
を受ける
- 2016.11 ふじみ野市長より、ふじみ野市・三芳町環境センター
建設事業推進への貢献について、感謝状を授与される
- 2017.05 （公社）栃木県産業資源循環協会より感謝状を
授与される。



ハイライト

トロンメルの導入

Highlights

平成28年3月、手選別や振動振り機では選別できなかった、廃棄物に付着した細かい付着物までも除去が可能となる、自社開発のトロンメルを導入しました。

導入により、管理型混合廃棄物を今まで以上に細かく選別できるようになります。



＜特徴＞

- スクリーン系を変えることで、様々な処理物の選別が可能
- 六角ドラム方式採用により、目詰まりしにくい
- シンプルな構造で、消耗品の交換や保守点検が容易

埼玉県多様な働き方実践企業に認定されています

埼玉県では、女性の力で埼玉経済を元気にする「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」を進めており、その一環として、「多様な働き方実践企業」を認定し、女性がいきいきと働き続けられる環境をつくり、従業員の仕事と子育て等の両立についての社会的気運の醸成を図っています。

株式会社ウチダも管理職（役員を含む）のうち女性が10%以上在籍していること等の認定基準を満たし、平成27年1月から認定を受けています。



地域功労者表彰・感謝状授与

平成28年6月17日 公益社団法人 全国産業廃棄物連合会より地方功労者表彰を受けました。

また、11月1日には、ふじみ野市長より、ふじみ野市・三芳町環境センター建設事業推進への貢献について、感謝状を授与されました。



「ウチダ」の木くずリサイクル



畜産農家の言葉

肉牛団地



ウチダの生産する木くずの敷料（おがこ）は、皮膚に刺さらないので牛や豚がとても喜びます。



安心して寝そべることができるのでストレスが少なく、肉質の良い牛が育ちます。異物も全く混入していないので、人気が高く牧場間で取り合いをしているほどです。もっとたくさん供給するよう努力をお願いします。

農業生産者の言葉

キャベツ生産者

ウチダのおが粉を使った敷料に家畜ふんが混ざると、とてもバランスの良い堆肥ができます。他の堆肥と比べてキャベツの生育がとてよく、1.5倍ほどの大きさに育ち、味がとても良いため、ブランドキャベツとして全量百貨店に販売しています。百貨店でも人気の商品だそうです。

環境とのかかわり

廃棄物取り扱い実績（平成27年度・28年度実績）

廃棄物受入量 (m ³)		
	平成27年度	平成28年度
がれき類	6,865	5,653
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	9,045	8,132
廃プラスチック類	18,678	15,571
金属くず	3,360	3,021
紙くず	12,300	9,973
木くず	15,082	12,944
繊維くず	14	19
ゴムくず	1	1
合計	65,345	55,314

選別
破碎
圧縮・梱包
圧縮

リサイクル量 (t)		
	平成27年度	平成28年度
がれき類	7,869	5,198
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	8,050	7,484
廃プラスチック類	5,658	6,413
金属くず	3,256	2,952
紙くず	3,581	3,985
木くず	8,273	8,412
繊維くず	2	5
ゴムくず	0.1	0.1
混合残渣	240	1,916
合計	36,929	36,366

総量 (t)		
	平成27年度	平成28年度
総量	41,524	37,600

最終処分量 (t)		
	平成27年度	平成28年度
最終処分量	4,595	1,235

リサイクル率（平成27年度・28年度実績）

廃棄物の種類	リサイクル量 (t)		用途	リサイクル率 (%)	
	平成27年度	平成28年度		平成27年度	平成28年度
木くず	8,273	8,412	畜産資材（敷料）	100	100
紙くず	3,581	3,985	製紙原料	78	80
			熱原料・固形燃料原料	6	2
			畜産資材	13	17
繊維くず	2	5	畜産資材	81	71
			ダスタークロス原料	19	18
がれき類	7,869	5,198	再生砕石	77	84
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	8,050	7,484	再生砕石	80	75
			石膏原料	9	9
			農家資材	1	1
廃プラスチック類	5,658	6,413	熱原料	12	12
			プラスチック原料	74	79
			製造原料	86	98
金属くず	3,256	2,952	製造原料	100	100
ゴムくず	0.1	0.1	製造原料	100	100
混合残渣	240	1,916	熱原料（焼却・溶融）	4	61
合計	36,929	36,366		89	97



環境とのかかわり



ISO14001の取り組み

株式会社ウチダでは、2004年1月30日、ISO14001認証を取得しました。

認証に基づき、企業活動によって生じる環境への負荷を、常に低減するよう配慮、改善を行っています。

登録概要

社名	株式会社ウチダ
適用規格	BS EN ISO 14001 : 2004
登録番号	AJA04/7152
登録年月日	2004年1月30日
再登録年月日	2009年2月11日 2012年2月11日 2015年2月11日
有効期限	2018年2月11日
登録範囲	廃棄物の収集運搬・処分、 破砕機の製造・販売、中古 自動車の購入・販売
登録事業所	本社、販売本部（ふじみ野 営業所）、Eco. Amusement Park in AGEO



環境理念

株式会社ウチダは産業廃棄物処理業の一員として良質な社会資本の形成を通し、より豊かな生活を実現する為に重要な役割と責任を担っています。当社の行う事業は環境との係わりが深く、その事業活動の中で環境保全に取り組んで行くことは企業としての当然の責務でもあります。このような観点に立って当社は自らの事業活動における環境負荷の低減はもとより、よりよい環境の創造に努め人間にとって真に快適な環境創造の担い手として経済の発展と環境の保全とが持続的に共存する新しい社会の実現を目指します。

基本方針

当社は環境法規制等のもとより、当社が同意した環境に関する外部からの要求事項についてもこれを順守します。

当社は産業廃棄物処理事業活動において、公害防止や汚染予防に常に取り組んでおります。

省資源、省エネルギー、副産物のリサイクル等を含め、汚染回避・低減・管理に積極的に取り組み、環境負荷の低減を図ります。

環境目的・目標の設定・目標達成のための実施計画を策定・実施し、それらの見直しや是正・予防措置を通じ環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。

この環境方針は当社内の全社員に周知するほか、社外に開示します。

株式会社ウチダ 代表取締役

環境とのかかわり

平成28年度活動実績・29年度活動目標

項目	平成28年度		達成度	平成29年度 目標
	目標	実績		
省エネルギーへの取り組み				
ふじみ野事業所				
事業所へのパッシブソーラーハウスの導入（2008年）	維持	維持	○	維持
水道水浄化用浸透膜装置の導入（2008年）	維持	維持	○	維持
太陽光発電装置の導入（2008年）	1,600Kwhの売電	1,009Kwhの売電	△	1,600Kwhの売電
グリーン調達の推進	購入額の80%	購入額の83%	○	購入額の85%
カーボンオフセット付名刺の導入	導入率35%	導入率35%	○	導入率38%
上尾工場				
エコドライブの徹底	5.1Km/L	4.56Km/L	△	5.1Km/L
ドライバーズマニュアル（2009年策定）の周知徹底	継続	継続	○	継続
CO ₂ 排出量*	前年比1%減	965.3t-CO ₂ 12%減	◎	前年比1%減
環境対応車両の導入（導入比率）	32台/83台	40台/98台	○	40台/98台
事業所・工場の照明LED化推進	全照明の60%	14%/年増 施設全体の60%	◎	全照明の60%
エコドライブの推進（ドライブレコーダー、デジタルタコメーターの導入推進）	維持	維持	○	維持
資源の有効利用の推進				
リサイクル率の向上 現在のリサイクル率 5年後（基準年平成24年実績）平成29年度実績で100%を目標とする	95%	97%	○	100%
工場施設メンテナンスの内製化による長期使用と効率化の推進（総整備件数中の自社整備件数）	95%	95%	○	95%
収集運搬車両のメンテナンス内製化による長期使用の推進（点検整備総数分の自社整備件数）	95%	95%	○	95%
生物多様性の確保				
木くずの再資源化の推進（量の拡大） 敷料⇒堆肥化⇒有機減農薬農法の推進⇒生態系への環境負荷の軽減	前年比3%増	1.7%増	△	前年比3%増
水田・芋畑の管理、協力	5.5 t 収穫	6 t 収穫	○	6 t 収穫

*これまでCO₂排出量は、(株)ウチダが委託した産業廃棄物の焼却・熔融、最終処分（埋立）分の排出量も合算して記載してきたが、今年度から(株)ウチダの排出量責任範囲である部分のみとし、委託先の数値は合算しないこととした。



環境とのかかわり



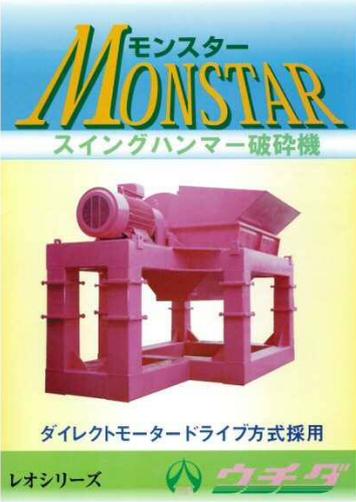
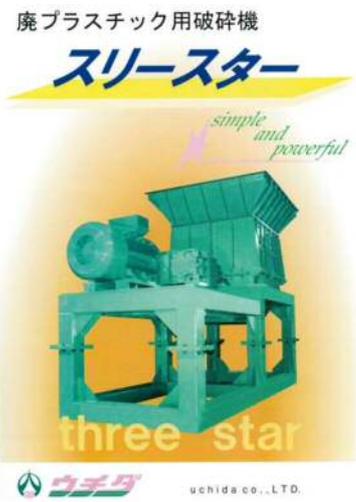
製造部門の実績

株式会社ウチダは産業廃棄物の処理だけではなく、処理機械の開発・製造・販売・維持管理も行っています。



環境展にて

製造装置の一例

MONSTAR	スリースター	ユニバーサルクラッシャー
 <p>ダイレクトモータードライブ方式採用 レオシリーズ</p>	 <p>simple and powerful three star</p>	 <p>uchida co., LTD.</p>
<p>用途：木くず、石膏ボード、紙くず、廃畳、硬質プラスチックの破碎 大型大容量処理破碎機。投入口を特に広く設計。一次破碎機に最適。 特殊構造の投入スロープ床により細かな木くず、石膏片も吸引。 カップリングを介したダイレクトモータードライブ方式を採用。</p>	<p>用途：軟質プラスチック、硬質プラスチック、繊維くず、紙くず、木くずの破碎 軟質、硬質を問わずあらゆるプラスチック製品を剪断破碎。 軟質プラスチック（特にシート系）の処理能力が抜群に向上。 低振動、低騒音。 バリエーション豊かなロストルと固定刃の組み合わせにより、粒度調整が可能。</p>	<p>用途：木くず、硬質プラスチック、石膏ボード、廃畳の破碎 特殊構造の投入口スロープ床により、細かな木くず、石膏も吸引。 コンパクト。</p> <div data-bbox="1077 1473 1444 1630" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>*いずれも、シンプルな構造の為、頑健。消耗品の交換等保守点検も容易です。</p> </div>

販売実績

納入先	納入機器
北海道旭川市	MONSTAR・ユースター・振動ふるい機・風力選別機・バーク用破碎機（振動ふるい付）
埼玉県岩槻市	ユースター・磁選機・ベルトコンベアー・ユースター用モーター
沖縄県具志川市	MONSTAR
愛媛県西条市	MONSTAR・磁選機・ベルトコンベアー
新潟県新潟市	圧縮梱包機
静岡県浜松市	振動ふるい機

環境とのかかわり

製造装置設置例

「モンスタージュニア」と「ベルトコンベアー」「磁選機」を設置。塩ビ管・継手を破碎して塩ビペレット（チップ）を製造。



「モンスター」と「ユースター」を設置。オガコを製造。



装置のメンテナンス例とパーツ保管

溶接



破碎機の刃の再生もりつけ



破碎機の刃



破碎機の部品

（オーバーサイズをリターンさせるために使用）



環境とのかかわり



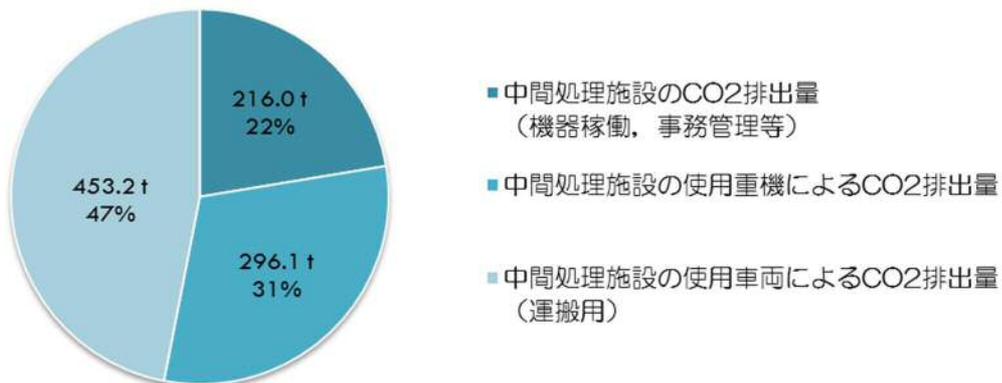
CO₂排出量（平成27年度・平成28年度）

項目		2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)
産業廃棄物取扱量 (t)		41,524	37,600
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂) (株ウチダの 責任範囲)	中間処理施設の年間総CO ₂ 排出量 (機器稼働, 事務管理等)	184.2	216.0
	中間処理施設の使用重機によるCO ₂ 排出量	322.8	296.1
	中間処理施設の使用車両によるCO ₂ 排出量 (運搬用) 注)	589.6	453.2
	合計	1096.6	965.3
委託先の 責任範囲	参考：(株ウチダからの廃棄物処理（委託）によるCO ₂ 排出量（焼却・溶融, 埋立）	242.2	753.0
総合計		1,338.7	1,718.4

注) 産業廃棄物輸送における運搬車両全体のCO₂排出量である。



年間CO₂排出量内訳 2016年度



算出：明治大学理工学部 建築材料研究室

環境とのかかわり

CO₂排出量の明細

算出：明治大学理工学部 建築材料研究室

使用電力によるCO₂排出量

$$\text{CO}_2 \text{ 排出量 [t-CO}_2\text{]} = \text{電力消費量 [kWh]} \times \text{使用電力会社排出係数 [t-CO}_2\text{/kWh]}$$

2015の東京電力排出係数 0.496×10^{-6}
2016の東京電力排出係数 0.491×10^{-6}

- 太陽光発電による電力売却分は合計に対し減算

▶ 電力消費量増大に伴いCO₂排出量も増大。



項目	2015年度		2016年度	
	エネルギー消費量 (kWh/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	エネルギー消費量 (kWh/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
上尾	358,578	177.9	430,328	211.3
ふじみ野	13,719	6.8	10,621	5.2
太陽光発電(売却)	-934	-0.5	-1,009	-0.5
合計	371,363	184.2	439,940	216.0

使用重機によるCO₂排出量

$$\text{CO}_2 \text{ 排出量 [t-CO}_2\text{]} = \text{燃料消費量 [kl]} \times \text{使用燃料排出量算定係数 [t-CO}_2\text{/kl]}$$



- fuLは灯油を基剤とし添加剤を加えた燃料のため、排出量算定係数は灯油の係数を使用

▶ 燃料消費量が減少しているのに伴いCO₂排出量も減少。

項目	排出量算定係数 (t-CO ₂ /kl)	2015年度		2016年度	
		エネルギー消費量 (kl/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	エネルギー消費量 (kl/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
ガソリン	2.32	5.7	13.1	5.1	11.9
軽油	2.58	76.0	196.0	83.1	214.3
その他 (fuL燃料)	2.49	45.6	113.6	28.1	69.9
合計		127.3	322.8	116.3	296.1

運搬車両によるCO₂排出量 (燃料法)

$$\text{CO}_2 \text{ 排出量 [t-CO}_2\text{]} = \text{燃料消費量 [kl]} \times \text{使用燃料排出量算定係数 [t-CO}_2\text{/kl]}$$

- 中間処理施設への搬入、中間処理施設からの搬出の合計



▶ 燃料消費量が減少しているのに伴いCO₂排出量も減少。

項目	排出量算定係数 (t-CO ₂ /kl)	2015年度		2016年度	
		エネルギー消費量 (kl/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	エネルギー消費量 (kl/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
ガソリン	2.32	5.1	11.8	5.2	12.1
軽油	2.58	216.0	557.2	166.4	429.3
CNG・LPガス	3.00	6.8	20.5	4.00	11.9
合計		227.9	589.6	175.6	453.2

参考：(株)ウチダからの廃棄物処理 (委託) によるCO₂排出量

$$\text{CO}_2 \text{ 排出量 [t-CO}_2\text{]} = \text{廃棄物持ち込み量 [t]} \times \text{廃棄物処理原単位 [t-CO}_2\text{/t]}$$

- 中間処理後の焼却・溶融、埋立処分 (委託処理) について算出

▶ 廃棄物持ち込み量は減少しているがCO₂排出量は増加している。これは焼却・溶融処理におけるCO₂排出量が増加したためである。

▶ 委託先企業が負担する範囲となる。

項目	廃棄物処理原単位 (t-CO ₂ /t)	2015年度		2016年度	
		廃棄物持ち込み量 (t/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	廃棄物持ち込み量 (t/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
埋立処分 (委託処理)	0.0379	4,595.6	174.2	1234.8	46.8
焼却・溶融 (委託処理)	0.262 0.411 0.283 持ち込み先による	240.1	68.0	1916.2	706.2
合計		4835.7	242.2	3151.0	753.0



環境とのかかわり



CO₂排出量の経年変化

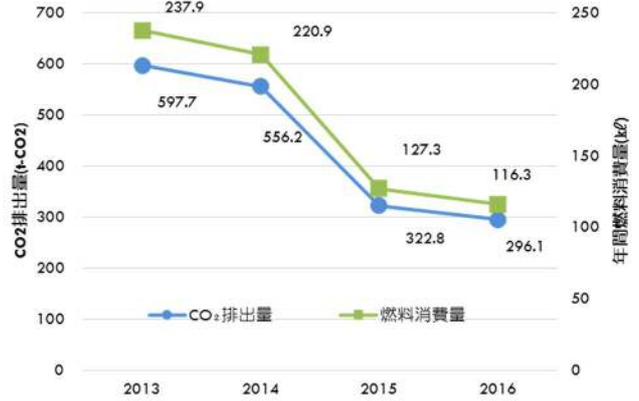
平成25年度（2013年）～平成28年度（2016年）

算出：明治大学理工学部 建築材料研究室

使用電力によるCO₂排出量



使用重機によるCO₂排出量



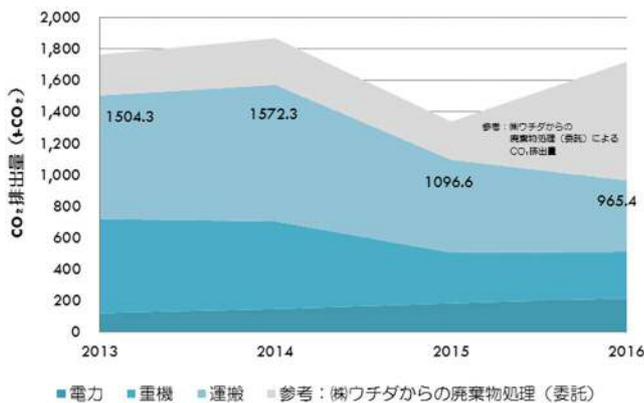
運搬車両によるCO₂排出量 (燃料法)



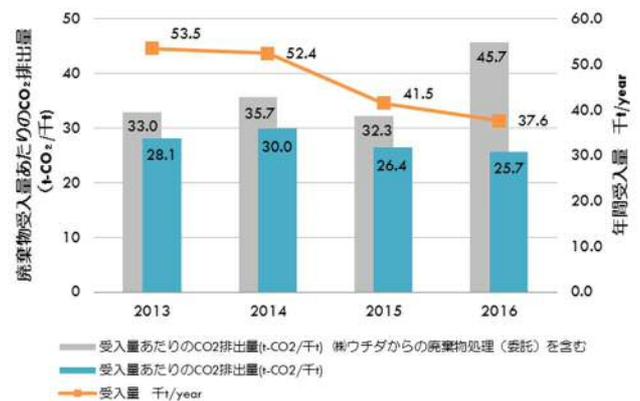
参考：(株)ウチダからの廃棄物処理 (委託) によるCO₂排出量



CO₂排出量 (合計)



年間産業廃棄物受入量あたりのCO₂排出量



環境とのかかわり

優良確認・認定

優良産廃処理業者認定制度とは、常の許可基準よりも厳しい基準をクリアした優良な産廃処理業者を、都道府県・政令市が審査して認定する制度です。平成22年度の廃棄物処理法改正に基づいて創設されました。

株式会社ウチダでは、廃棄物処理法改正前の旧制度（優良性評価制度）から情報開示等を進め、平成23年5月から順次、埼玉県 産業廃棄物処分量、東京都、埼玉県、群馬県、千葉県、神奈川県

の産業廃棄物収集運搬業で優良確認・認定を受けています。
 ※ 優良認定は、産業廃棄物処理業の許可更新時に各都道府県・政令市による審査を受け優良基準に適合することの認定を受けるものです。優良確認とは、許可更新時ではない任意の時点で審査、確認を受けるものです。

※ 東京都については、「産廃エキスパート」認定（収集運搬業 積替え保管を除く）も第1回認定（平成22年2月）から継続して取得しております。（認定番号2-11-A0046）

許可番号 01120030676

産業廃棄物処分量業許可証

住所 埼玉県ふじみ野市駒林18番地
氏名 株式会社ウチダ
代表取締役 内田 一二三

優良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた者であることを証する

埼玉県知事 上田 清博

許可の年月日 平成 26年 7月 18日
許可の有効年月日 平成 33年 5月 26日

1. 事業の範囲
 中間処理
 破砕：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、
 ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず、がれき類 以上8種類
 破砕・減容：廃プラスチック類（塩化ビニルを除く。）、紙くず（圧縮固化に適したものに限る。）、
 木くず（圧縮固化に適したものに限る。）、繊維くず（圧縮固化に適したものに限る。）以上4種類
 圧縮梱包：廃プラスチック類、紙くず、繊維くず 以上3種類
 圧縮：金属くず 以上1種類

2. 事業の用に供するすべての施設（施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号（産業廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合に限り。）を記載すること。）
 施設等の所在地
 埼玉県上野市大字加家字中井1116番4、1118番1、1118番2、1118番6、1119番1、
 1119番2、1119番3、1120番1、1120番2、1120番3、1120番5、1120番7、
 1120番8、1121番1、1121番2、1146番3、1146番7
 以上17筆（面積4,465.40㎡）に限る。
 処理施設及び保管施設の概要は裏面のとおり。

3. 許可の条件
 中間処理及び所処理に伴う保管は 2. に掲げる場所で行うこと。

4. 許可の更新又は変更の状況

許可（届出）年月日	指令番号	変更内容
平成 9年 5月27日	指令発第157号	新規許可
平成20年12月17日	指令産廃第1093号	変更許可（破砕・減容の追加及び事業場面積の拡大）
平成23年 5月31日	指令中環第233号	優良確認
平成24年 8月 1日	—	変更届（保管面積の縮小及び保管高さの増大）
平成25年 7月18日	指令中環第159号	更新許可（優良認定）

5. 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無 有・無

許可番号 01120030676

産業廃棄物収集運搬業許可証

住所 埼玉県ふじみ野市駒林18番地
氏名 株式会社ウチダ
代表取締役 内田 一二三

優良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する

埼玉県知事 上田 清博

許可の年月日 平成23年 5月 18日
許可の有効年月日 平成29年 5月 18日

1. 事業の範囲
 中間処理
 破砕（有機性のものを除き乾燥・脱水処理に限る。）、
 破砕・減容、
 繊維くず、
 紙くず、
 木くず、
 陶磁器くず、
 金属くず、
 ガラスくず、
 コンクリートくず（がれき類を除く。）以上8種類

2. 事業の用に供するすべての施設（施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号（産業廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合に限り。）を記載すること。）
 施設等の所在地
 埼玉県上野市大字加家字中井1116番4、1118番1、1118番2、1118番6、1119番1、
 1119番2、1119番3、1120番1、1120番2、1120番3、1120番5、1120番7、
 1120番8、1121番1、1121番2、1146番3、1146番7
 以上17筆（面積4,465.40㎡）に限る。
 処理施設及び保管施設の概要は裏面のとおり。

3. 許可の条件
 中間処理に伴う保管は 2. に掲げる場所で行うこと。

4. 許可の更新又は変更の状況

許可（届出）年月日	指令番号	変更内容
平成 9年 5月27日	指令発第157号	新規許可
平成20年12月17日	指令産廃第1093号	変更許可（破砕・減容の追加及び事業場面積の拡大）
平成23年 5月31日	指令中環第233号	優良確認
平成24年 8月 1日	—	変更届（保管面積の縮小及び保管高さの増大）
平成25年 7月18日	指令中環第159号	更新許可（優良認定）

5. 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無 有・無

許可番号 01492030676

産業廃棄物収集運搬業許可証

住所 埼玉県ふじみ野市駒林18番地
氏名 株式会社ウチダ
代表取締役 内田 一二三

優良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する

埼玉県知事 黒岩 祐治

許可の年月日 (届出許可年月日) 平成 24年 4月 11日
平成 24年 4月 23日
許可の有効年月日 平成 31年 3月 22日

1. 事業の範囲
 (1) 事業の区分
 収集・運搬

(2) 産業廃棄物の種類 (積替え・保管を除く)
 燃え殻、汚泥、焼灰、溶融アスベスト、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、
 陶磁器くず、がれき類、コンクリートくず（がれき類を除く。）、ガラスくず、
 金属くず、コンクリートくず（がれき類を除く。）以上8種類

2. 事業の用に供するすべての施設（施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号（産業廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合に限り。）を記載すること。）
 施設等の所在地
 埼玉県上野市大字加家字中井1116番4、1118番1、1118番2、1118番6、1119番1、
 1119番2、1119番3、1120番1、1120番2、1120番3、1120番5、1120番7、
 1120番8、1121番1、1121番2、1146番3、1146番7
 以上17筆（面積4,465.40㎡）に限る。
 処理施設及び保管施設の概要は裏面のとおり。

3. 許可の条件
 収集・運搬に伴う保管は 2. に掲げる場所で行うこと。

4. 許可の更新又は変更の状況

許可（届出）年月日	指令番号	変更内容
平成 24年 4月 11日	—	新規許可
平成 24年 4月 23日	—	新規許可
平成 31年 3月 22日	—	更新許可

5. 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無 有・無

許可番号 01200030676

産業廃棄物収集運搬業許可証

住所 埼玉県ふじみ野市駒林18番地
氏名 株式会社ウチダ
代表取締役 内田 一二三

優良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する

埼玉県知事 鈴木 康

許可の年月日 平成22年 9月 25日
許可の有効年月日 平成29年 9月 24日

1. 事業の範囲
 (1) 事業の区分
 収集・運搬

(2) 産業廃棄物の種類 (積替え・保管を除く)
 燃え殻、汚泥、焼灰、溶融アスベスト、廃プラスチック類、紙くず、木くず、
 繊維くず、陶磁器くず、がれき類、コンクリートくず（がれき類を除く。）、
 ガラスくず、金属くず、コンクリートくず（がれき類を除く。）以上8種類

2. 事業の用に供するすべての施設（施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号（産業廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合に限り。）を記載すること。）
 施設等の所在地
 埼玉県上野市大字加家字中井1116番4、1118番1、1118番2、1118番6、1119番1、
 1119番2、1119番3、1120番1、1120番2、1120番3、1120番5、1120番7、
 1120番8、1121番1、1121番2、1146番3、1146番7
 以上17筆（面積4,465.40㎡）に限る。
 処理施設及び保管施設の概要は裏面のとおり。

3. 許可の条件
 収集・運搬に伴う保管は 2. に掲げる場所で行うこと。

4. 許可の更新又は変更の状況

許可（届出）年月日	指令番号	変更内容
平成 22年 9月 25日	—	新規許可
平成 29年 9月 24日	—	更新許可

5. 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無 有・無

許可番号 2-11-A0046

産業廃棄物収集運搬業許可証

住所 東京都中央区新富町1-1-1
氏名 株式会社ウチダ
代表取締役 石原 慎太郎

優良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する

東京都知事 石原 慎太郎

許可の年月日 平成23年 5月 18日
許可の有効年月日 平成33年 5月 18日

1. 事業の範囲
 (1) 事業の区分
 収集・運搬(積替え・保管を除く)

(2) 産業廃棄物の種類
 燃え殻、汚泥、焼灰、溶融アスベスト、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、
 陶磁器くず、がれき類、コンクリートくず（がれき類を除く。）、ガラスくず、
 金属くず、コンクリートくず（がれき類を除く。）以上8種類

2. 事業の用に供するすべての施設（施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号（産業廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合に限り。）を記載すること。）
 施設等の所在地
 東京都中央区新富町1-1-1
 以上1筆（面積1,000.00㎡）に限る。
 処理施設及び保管施設の概要は裏面のとおり。

3. 許可の条件
 収集・運搬に伴う保管は 2. に掲げる場所で行うこと。

4. 許可の更新又は変更の状況

許可（届出）年月日	指令番号	変更内容
平成 23年 5月 18日	—	新規許可
平成 33年 5月 18日	—	更新許可

5. 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無 有

認定番号:2-11-A0046
 東京都

許可番号 01000030676

産業廃棄物収集運搬業許可証

住所 埼玉県ふじみ野市駒林18番地
氏名 株式会社ウチダ
代表取締役 内田 一二三

優良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する

埼玉県知事 大澤 正明

許可の年月日 平成 23年 7月 6日
許可の有効年月日 平成 30年 7月 5日

1. 事業の範囲
 (1) 事業の区分
 収集・運搬

(2) 産業廃棄物の種類 (積替え・保管を除く)
 燃え殻、汚泥、焼灰、溶融アスベスト、廃プラスチック類、紙くず、木くず、
 繊維くず、陶磁器くず、がれき類、コンクリートくず（がれき類を除く。）、
 ガラスくず、金属くず、コンクリートくず（がれき類を除く。）以上8種類

2. 事業の用に供するすべての施設（施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号（産業廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合に限り。）を記載すること。）
 施設等の所在地
 埼玉県上野市大字加家字中井1116番4、1118番1、1118番2、1118番6、1119番1、
 1119番2、1119番3、1120番1、1120番2、1120番3、1120番5、1120番7、
 1120番8、1121番1、1121番2、1146番3、1146番7
 以上17筆（面積4,465.40㎡）に限る。
 処理施設及び保管施設の概要は裏面のとおり。

3. 許可の条件
 収集・運搬に伴う保管は 2. に掲げる場所で行うこと。

4. 許可の更新又は変更の状況

許可（届出）年月日	指令番号	変更内容
平成 23年 7月 6日	—	新規許可
平成 30年 7月 5日	—	更新許可

5. 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無 有・無



環境とのかかわり



各種試験結果報告

試験・分析の内容	試験実施日	試験・分析の結果
混合廃棄物（中間処理破砕物）の放射性セシウム濃度試験	平成28年12月7日 平成29年1月25日	放射性ヨウ素 I-131 不検出 放射性セシウムCs-134 不検出 放射性セシウムCs-137 不検出
混合廃棄物（中間処理破砕物）の熱しゃく減量計量	平成28年12月7日	4.76%
おがこの肥料分析	平成19年3月2日	クロム、カドミウム、鉛、ヒ素、水銀、ニッケル いずれも不検出
おがこの食品衛生検査	平成28年10月27日 平成29年3月21日	黄色ブドウ球菌 陰性 E.coli 1.1×10 ⁴ /100g サルモネラ 陰性 腸管出血性大腸菌O-157 陰性

混合廃棄物（中間処理破砕物）の放射性セシウム濃度試験

混合廃棄物（中間処理破砕物）の熱しゃく減量計量

おがこの肥料分析



おがこの食品衛生検査





地域・社会とのかかわり



地域農業支援



田植え作業



稲穂

検査格付結果通知票

伝票番号 991913

検査請求年月日	28年11月01日	年産	28	検査請求区分	第3条
検査年月日	28年11月02日	生産者	内田 一二三	2360-1-0009-0043	0000575828
埼玉県ふじみ野市駒林18					
流通区分	加工用米	種類	水稲うるち玄米	出荷業者等	いるま野
産地	埼玉県	検査場所	東部カントリーエレベーター	市町村・集落	ふじみ野市 駒林東部
検査請求数量	58.0	包装・量目	結球	30.0	kg
伝票区分	0 通常	検査方法	1 抽出	手続区分	0 手続なし
検査区分	0 第3条	引渡区分	0 なし	表示区分	0 0
地区区分	0 なし	買入区分	0 一般分	品質区分	00 00
区分1	1 JA直売	区分2	3 買取	区分3	1 達成
区分4	0 なし	区分5	0 なし	区分6	000 なし
区分7	000 なし				
品種名	類	等級	数量	単価	金額格付理由水分
埼玉県産コシヒカリ	2	1等	58.0		14.5

検査格付結果通知票

伝票番号 991872

検査請求年月日	28年11月01日	年産	28	検査請求区分	第3条
検査年月日	28年11月02日	生産者	内田 一二三	2360-1-0009-0043	0000575828
埼玉県ふじみ野市駒林18					
流通区分	JA米	種類	水稲うるち玄米	出荷業者等	いるま野
産地	埼玉県	検査場所	東部カントリーエレベーター	市町村・集落	ふじみ野市 駒林東部
検査請求数量	300	包装・量目	結球	30.0	kg
伝票区分	0 通常	検査方法	1 抽出	手続区分	0 手続なし
検査区分	0 第3条	引渡区分	0 なし	表示区分	0 0
地区区分	0 なし	買入区分	0 一般分	品質区分	00 00
区分1	1 JA直売	区分2	3 買取	区分3	1 達成
区分4	0 なし	区分5	0 なし	区分6	000 なし
区分7	000 なし				
品種名	類	等級	数量	単価	金額格付理由水分
埼玉県産コシヒカリ	2	1等	300		14.5

埼玉県産コシヒカリ 2類1等級

地域清掃活動

平成28年4月23日、24日に開催された「アースデイ東京2016」に、(一社)東京都産業廃棄物協会の一員として、ごみゼロステーションの運営、イベント会場の周辺の清掃活動に参加しました。



上尾領家工業団地での清掃活動の様子 (平成28年7月1日)





お客様とのかかわり



工場見学会・お客様向け勉強会

株式会社ウチダでは、お客様である廃棄物の排出事業者の皆様をはじめ、広く一般に、随時処理施設の見学を受け入れています。

排出事業者の皆様には、現場で分別された廃棄物が処理される様子や、自社開発のリサイクル機器の性能、工場での環境配慮の実際をご確認頂いております。

また、ご要望に応じて、現場監督や作業員への現場分別指導や、排出事業者として順守しなければならない法規制等の内容についての勉強会を行っています。



平成28年4月21日実施 排出事業者による見学の様子



平成28年6月8日実施 排出事業者による見学の様子



社員とのつながり



社内勉強会

株式会社ウチダでは、産業廃棄物処理業をはじめとする各分野で、社員ひとりひとりがプロフェッショナルとして通用する人材に育つよう、資格取得の奨励はもとより、定期的に環境関連法令等の社内勉強会を開催したり、外部講習会へ積極的に参加させるなどして、社員教育、人材育成に力を入れています。



<平成28年度社内勉強会実施状況>

日付	内容
平成28年4月23日 平成28年5月28日 平成28年8月27日	<ul style="list-style-type: none"> 建設廃棄物の適正処理について 過積載について・車両荷台制限について
平成28年9月24日 平成28年10月1日	<ul style="list-style-type: none"> 石綿含有建材の適正処理について (石綿障害予防規則特別教育)
平成28年11月19日 平成28年11月26日 平成28年12月17日 平成28年12月24日	<ul style="list-style-type: none"> 職長・安全衛生責任者教育 書籍「職長・安全衛生責任者教育テキスト」 (建設業労働災害防止協会)使用
平成29年2月18日	<ul style="list-style-type: none"> 行政処分の事例等 石綿事前調査実施者資格について

<平成28年度外部講習会受講状況>

修了日	講習会の名称	実施者	了証番号
平成28年10月28日	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(更新)の収集・運搬課程	公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター	第516077164号
平成28年12月20日	平成28年度産業廃棄物実務研修会「法律研修コース」	一般社団法人 埼玉県環境産業振興協会	第1023号 第1024号
平成29年1月27日	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(更新) 収集・運搬課程	公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター	第516112098号
平成29年2月9日	東京都23区(特別区)指定一般廃棄物処理業許可更新講習	一般財団法人 日本環境衛生センター	第16471号



社員とのつながり



安全衛生の取り組み

株式会社ウチダでは、日々安全を念頭におきながら企業活動を行っていくため、安全衛生教育や労働安全衛生についての活動を行っています。

平成28年10月17日実施 防災訓練



場内安全標識



事故防止のため重機と人の動線を区画するパイロンとバーの設置、RL2マスク装着



作業手順書

産業廃棄物処分作業手順書



KY活動実施の様子



安全帯の使用



第三者意見

1. 産業廃棄物処理業界を取り巻く環境について

日本における人口減少の影響は経済の停滞としてまさに現出しつつあるといえます。東京オリンピックや復興需要、賃貸住宅の建設等で表面的には好調の建設業界においても、人口減の影響は表れ始めてるといえるでしょう。分別の定着やリサイクルの増加と相俟って、施工現場から発生する廃棄物は年々減少している状況があります。産業廃棄物処理業界にとっては厳しい時代を迎えたこととなります。このような時代背景の下で生き残るためには

- ① 適切な情報公開がなされていること
- ② リサイクル率が極めて高いこと
- ③ 確実なリサイクル先を確保していること

という、適正な中間処理業者としての資質を磨き込む必要があります。

これらの視点から株式会社ウチダの業態を見てみると、木くずと塩ビ管のリサイクルの事例にみられるように、自社製造の破砕機で破砕した木くずが牧場において敷料として使用された後に農作物の肥料となり自然に帰り、塩ビ管も同様に自社製造の破砕機で破砕後、再生塩ビ管に加工され市場に供給されるという、きれいなリサイクルループを描くことのできる事業に積極的に取り組んでいることがわかります。環境報告書の発行など、上記のいずれのポイントについて十分に排出事業者をはじめとする社会の要請に答えていることがわかります。

この企業姿勢は同業他社だけでなく、多くの製造業にとっても学ぶ価値のあるものだと思います。

2. 株式会社ウチダに期待すること

昨年度の実績において廃棄物の受け入れ量が前年に比べ減少した中で、混合廃棄物の受け入れ量が増加したことは、上述の背景の影響があるように見受けられます。にもかかわらずリサイクル比率が前年より大幅に上昇している点は評価できますが、企業の持続性を担保するためには受注量の増大は必達要件でもあります。受注量が増えてこそリサイクルの質の向上を望むことが可能となり、ひいては原単位当たりのCO2排出量削減も可能となります。

再資源化率向上のチャレンジに加え、受注増へ向けた積極的な営業施策の立案と実施をとおして、今まで以上に御社の理想実現に向けた積極的な活動にまい進することを期待いたします。

早稲田大学 環境総合研究センター
招聘研究員 上川路 宏

ご意見をいただいて

昨年のCSR報告書にて頂いたご指摘を踏まえ、受注量増・リサイクル比率向上に努めてまいりました。

現場での分別の徹底により現場単位毎の産業廃棄物排出量の減少する一方で、改修・改築工事に伴う混合廃棄物の受入量が増加致しました。

そのような状況下の中、今年度のリサイクル比率の大幅上昇につきまして上川路様よりご評価頂き、ありがとうございます。

業界を取り巻く厳しい環境下で、受注量の増大と人材確保は課題であります。

昨年に引き続き 安定した受注量の確保及び高リサイクル率の維持に努め、今後とも循環型社会の構築に寄与していく所存です。

株式会社ウチダ CSR実行委員長 内田 朋美



営業本部
(ふじみ野営業所)

〒356-0052 埼玉県ふじみ野市苗間1-6-10
TEL：049-293-1128 FAX：049-293-1126

ECO.AMUSEMENT PARK IN
AGEO (上尾工場)

〒362-0066 埼玉県上尾市領家字中井1119-1
TEL：048-782-0201 FAX：048-782-0204

E-mail: e-eco-uchida@bh.wakwak.com